

**理念**  
兵庫医科大学病院は、安全で質の高い医療を行い、地域社会へ貢献するとともに、よき医療人を育成します。

**基本方針**  
・人権を尊重し、患者の立場に立った医療の実践  
・人間性豊かな、優れた医療人の育成  
・高度で、先進的な医療や医学研究の推進  
・健康増進活動による保健・福祉の推進  
・地域の医療機関との円滑な連携

### 病院をもっと身近に あなたとつながる情報誌

学校法人 兵庫医科大学 総務企画部 広報課 西宮市武庫川町 1-1 <http://www.hosp.hyo-med.ac.jp/> 代表：0798-45-6111

2011年4月発行

3月11日午後発生した東北地方を中心とする大地震にて、被災された方々には心からのお見舞いを申し上げますと共に、犠牲となられた方々に対しまして哀悼の意を表します。

平成7年に阪神・淡路大震災を経験した当院としましては、現地の皆様の震災被害の悲しみとその恐怖はいかほどか、ご心中を察して余りある状況でございます。

現在も救助を待っておられる被災地の皆様の安全と、一日も早い復旧を心よりお祈り申し上げます。

兵庫医科大学病院 病院長 太城力良

# 急性医療総合センター建設へ 地鎮祭



兵庫医科大学全景(模型)

学校法人 兵庫医科大学の西宮キャンパスにおける本格的整備の第一歩として、10号館

東側に「急性医療総合センター」を建設します。

その地鎮祭が、平成23年2月21日(月)に執り行われました。

これに先立ち、教職員専用駐輪場、および卒後臨床研修センターとして、また、平成21年に流行した新型インフルエンザの臨時診療施設として利用されていたプレハブ舎が解体・撤去されました。2月1日

日から利用が始まった新しい駐輪場に自転車100台を収容することができるといいます。続いてプレハブ舎の解体が始まりましたが、こちらが、自転車・バイク合わせて約700台を収容するプレハブ舎があった駐輪場があったという間に更地になりました。続いてプレハブ舎の解体が始まりましたが、こちらも見ると解体が進み、実質10日足らずで更地になりました。

地鎮祭当日は少し風がありました



大学会館横駐輪場



10号館東側施設解体工事



駐輪場の解体



撤去後の様子(立体駐車場から)



プレハブ舎の解体

体の方々、設計、施工業者の方々の安全祈願を行いました。



地鎮祭の様子1



地鎮祭の様子2

式後の直会では新理事長から「本学、設計、施工の3者が一体となって歴史に残る素晴らしい建物を作っていく」と挨拶があり、設計担当からは「急性期医療を担うための機能を充足させ、災害時にも十分機能しうる設計を、また、今後西宮キャンパスの整備計画のモデル、基点となる建物として患者さんはもちろん病院スタッフにもやさしい建物」であるよう設計しましたとご挨拶いただき、完成までしっかり参加・確認させて

いただきましたと約束していただきました。施工担当者はこれらのあいさつを受け、「皆さんのご希望に沿った建物が無事故、無災害で工期までに作り上げることができよう建設現場スタッフをはじめ、全社一丸となって頑張る」ことを約束していただきました。

太城病院長からも「建設中は近隣の皆様にご迷惑をおかけすることもありますが、完成後には『やっぱり兵庫医科大学病院が近くにあるようになっていきたい』と抱負が語られました。

新理事長あいさつ



新理事長あいさつ



太城病院長あいさつ

これからの約2年間、急性医療総合センター建設に係るいろいろな情報を病院NEWS等でお伝えしてまいります。



急性医療総合センター(模型)

# 病院機能評価 Ver.6 認定

平成22年9月29日(水)〜10月1日(金)に実施されました病院機能評価Ver.6再審査にしまして、同年11月17日付で中間的な結果報告がありました。その報告によると、「兵庫医科大学病院は今以上に各評価項目における「評価2」以下の項目はなく、引続き12月16日に行われた日本医療機能評価機構の評価委員会の本審査、および平成23年1月7日の同機構の運営会議で評価結果が確定し、同機構本部より認定書が交付されました。

平成22年7月発行の兵庫医科大学病院NEWS Vol.12でも今回の再審査についてお知らせいたしました。第三者的な立場の方々に病院の機能について体系的に、客観的なチェックをしていただくことで改善すべき点を明確にさせていただきます。

先ほども述べましたが、今回のVer.6再審査では「評価2」以下がなく、適正な病院の管理運営が



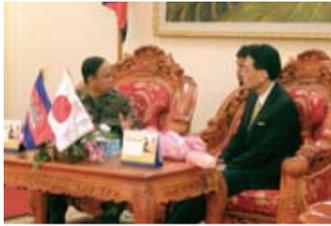
# 兵庫医科大学 救急・災害医学講座

## 救命救急センターからのご報告

主任教授 小谷 穰治

### カンボジア医療支援と 叙勲報告

皆さんが、もしも急に大きな病気になる、重大事故や自然災害に巻き込まれたりしてしまったり、救助隊や救急隊がすぐに駆けつけます。それは、日本では当たり前のことですが世界には、そうではない国がたくさんあります。兵庫医科大学救命救急センターに事務局を置く「日本国際救急救助技術支援会」(JPR)は、このような国・地域の救急・災害医療の援助を行っています。元神戸市消防局の正井潔さんを会長、私を顧問として、救命救急士、看護師、医師などの医療者のみならず自動車整備工場の社長さんなど、援助に必要な知識と技術を持った多くのメンバーで構成されています。他の多くの支援団体は救急車や救助用資機材を送るだけですが、JPRの信条は救急治療の知識や技術、救急隊や救助隊の制度の確立の支援です。今までに、インドネシア、ザンビア、スリランカなどで医療支援を行い、2008年6月からカンボジア支援を開始しました。カンボジアは、ポルポト政権時代を終えて急速に経済発展を遂げ



カンボジア軍との会談



会談後記念撮影

ており、経済成長率は10%を超えています。また、人口1440万人のほとんどが仏教徒なので民族間の争いが無く、また親切な民族性で、現在は非常に平和で活気にあふれています。JPRはカンボジア軍と協力して、今までに多くの消防車、救急車を寄贈し、現地の医師や衛生兵に救急医療技術と知識の教育、災害訓練、消防技術などの教育をしてきました。これらの物資と人は現在プノンペン市内のカルメット病院やソビエト病院などで活躍しています。2009年にプノンペン市内のカンボジア軍第70旅団の敷地内にフンセン首相夫人の名前を冠したフンセン・ブレンニー病院を建設し、2010年4月からJPRのメンバー2名がこの軍施設内に常駐し、救急・災害医療の教育と制度作りの支援を始めました。

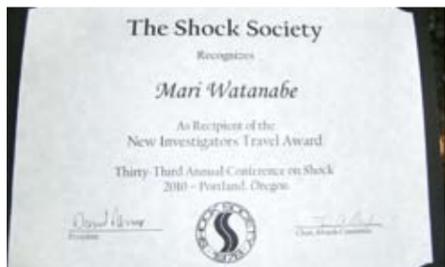


フンセン・ブレンニー病院



寄贈した救急車と消防車

カンボジアではポルポト時代に知識人が大量に虐殺され、医師は40名しか生き残らず、その後、国内外の医学部を卒業した医師はいませんが、教育する人や制度がありません。そこで、彼らへの教育制度を確立するために我々医師も昨年7月に軍施設に入り、周辺病院との協力関係構築や軍幹部との会談を行いました。日本では外傷症例が非常に少なくなっていますので、実はカンボジアでの教育制度に日本人医師の外傷外科教育も組み込むという目的もありました。そして、昨年11月にはこれらの功績が評価され、カンボジア国から勲章を頂きました。



トラベルアワード

がありません。そこで、彼らへの教育制度を確立するために我々医師も昨年7月に軍施設に入り、周辺病院との協力関係構築や軍幹部との会談を行いました。日本では外傷症例が非常に少なくなっていますので、実はカンボジアでの教育制度に日本人医師の外傷外科教育も組み込むという目的もありました。そして、昨年11月にはこれらの功績が評価され、カンボジア国から勲章を頂きました。



叙勲式2



叙勲式1



カンボジア軍幹部の来訪

### アメリカシヨック学会 トラベルアワード受賞報告

もしかしたら、救命救急センターに運ばれて助かった患者さんがどうして何日間も集中治療室で多くの機械に囲まれて治療を受けるのだろうかという疑問に思う方がいらっしゃるかもしれません。点

滴や抗生物質を投与したり、手術で損傷臓器を修復したあとに、生体反応を維持するために多くのメディアエーターが全身を駆け巡るのですが、これが過剰になると臓器障害やあらゆる感染を招きます。緊急治療後の集中治療は、まさにこの病態を乗り越えるためのものです。私たちは、過剰なメディアエーターにより大きく狂ってしまう免疫システムをコントロールするための研究を神戸大学医学部保健学科の宇佐美眞教授の研究室と共同で行っています。特に最近、なぜ男性より女性の方が重症の病態で回復力が強いのか(ご存知でしたか?)がテーマの一つです。この理由が明らかになれば新しい治療法につながります。そして、この度、アメリカシヨック学会で発表した「Gender difference of Interleukin (IL)-18-related signal transduction in jejunum during endotoxin-induced systemic inflammation」(インドトキシンによる全身炎症下の空腸におけるIL-18の情報伝達には男女差がある)が、トラベルアワードを受賞しました。この研究では、感染症による生体反応の原因の一つであるエンドトキシンを投与して作成した重症感染症モデルの空腸において、IL-18という侵襲下で生体内の情報を伝達するメディアエーター(これは本学の岡村春樹博士により発見されました)による情報伝達の機構が男女で異なることを発見しました。選ばれた10演題のうち日本からの研究は私達だけでしたから、とても誇りに思っています。これを励みに、重症病態の新しい治療方法の研究・開発にますます邁進して行く所存です。



共同研究者の青山倫子博士が受け取りました。

メディアエーター...生体の恒常性を維持したり生体反応を起こしたりするための情報を伝達する生理活性物質で、血管内皮細胞や損傷された組織、炎症部位に浸潤した白血球等から分泌される。

# 採血室

1号館3階のエスカレータを降りられたすぐそばにあります採血室へは、この病院で診察を受けられた方のほとんどが、一度はお越しになられたことがあるのではないのでしょうか。その採血室の運営は、臨床検査部が担当しています。臨床検査部とは、血液検査、尿や便の検査、細菌などの微生物検査、また心電図や脳波などの生理検査を行っているところなのです。実際に採血させていたいただいている部署が検査を行っています。

採血室の採血ブースは11ヶ所あり、国家資格を有する臨床検査技師と看護師合計12、13人体制で実施しています。採血室に来られる外来患者さんは、1日平均600人、750人でそのほとんどの方が午前中にお見えになります。



採血ブース

そのため、混み合う時間帯では1時間近くお待たせする場合があります、ご迷惑をお掛けしております。

採血室の自動受付機は7時30分から受付を始め、実際の採血は8時15分から始めています。一度に11人の方の採血を行えるよう準備しておりますので、1時間あたり約120人、140人の採血を行える体制で実施しております。待合室正面や出入り口近くの廊下側に現在の採血状況を番号で表示しており、おおよその待ち時間も出ております。



採血番号呼び出しモニター

安全面では、全国でも最も早い時期から、採血針や注射器はもちろんのこと採血ホルダーまでお一人ずつ使い捨てにし、さらに採血者(採血する人)の手袋もすべて使い捨てにして、徹底した安全対策を取っています。採血をさせていただくときには、必ずお誕生日などをお尋ねしております。現在使っております採血支援システムで患者さん

と採血管の確認をしたあと、ご本人の発声による確認で間違いのない採血を実施するようにしておりますので、ご協力の程よろしくお願いたします。

患者さんのプライバシーに対する配慮としまして、お隣で採血されておられる方の姿が見えないように採血ブースを設計しております。また原則としてお名前ではなく、番号でお呼びさせていただいております。また、採血が終わった時に採血した部位にアルコール綿花をテープで止めていたのを、このたび丸いパッドに変更し、さらに、この2月には肌に優しい製品に再度変更しました。しかし、これまで同様に採血終了後3分間はしっかり押さえおいてください。



パッド(製品)

採血は痛みを伴うことですが、最高の技術で間違いのない採血を行うよう常に努力致しておりますので、安心してお越しください。

# 連携病院の会

平成23年2月25日(金)17時よりノボテル甲子園において平成22年度学校法人兵庫医科大学連携病院の会が開催されました。

この連携病院の会は大学と連携病院が人事の交流等により相互の活性化を促進し、組織的な連携を強めること、大学と連携病院に在籍する医師の臨床教育・研修・研究及び診療技術の向



第3回連携病院の会

上を図ること、効率的で有効な学生教育に資することや地域医療の向上に寄与すること等を目的として設置され、平成23年2月25日現在で120病院にご入会いただいております。

当日は学外者77名(46病院)、学内者74名の合計151名の出席のもと、「医療人のキャリア開発支援」をテーマとして、当院副院長である山田看護部長より「看護師のキャリア開発支援」、済生会横浜市東部病院正木院長補佐より「これからの医療を支えるマネジメントスタッフ



山田看護部長

の役割とその育成」を演題としてご講演いただきました。

山田看護部長からは、医療の質は人材がすべてを左右すること、また、当院におけるキャリア開発支援の実際について説明があり、正木院長補佐からは、外部環境の変化に対応し、医療の質を高め、医療組織を成長させていくためには、人材育成は欠くことができない旨、済生会熊本病院での具体的事例に基づき説明がありました。



正木院長補佐

# 病院ボランティア募集



兵庫医科大学病院では、地域に開かれた病院の実現を目指して、『病院ボランティア』を募集しています。病院ボランティアに関心があり、優しさや何事にも前向きに取り組む姿勢のある方で学生の方以外であれば誰でも参加していただけます。ご協力いただける方のご連絡をお待ちしております。

- 活動日は月曜日から金曜日で、ご都合に合わせて参加していただけます。
- 現在のメンバーは30代~70代の女性20名です。

## 【主な活動内容】

- ① 初診手続きの補助 《毎週月曜日~金曜日 午前9時~11時》  
初めて来院された外来患者さんへ、受付の補助をしていただきます。
- ② 入院案内 《毎週月曜日 午前9時~11時30分》  
入院患者さんへ、入院日当日の受付のご案内、補助をしていただきます。
- ③ リネン交換 《毎週水曜日 午前9時~11時》  
10号館7・8・9階病棟のリネン(シーツ)の交換をしていただきます。
- ④ 材料作成 《第2・4火曜日、第3水曜日 午前9時~11時》  
外来診療で使用する材料(ガーゼたたみ等)を作成していただきます。

## 【お問い合わせ先】

TEL: 0798-45-6001 地域医療・総合相談センター ボランティア係  
〒663-8501 西宮市武庫川町1-1 兵庫医科大学病院1号館附属棟1階

## 採血をお受けになるまで

- 採血(尿)検査の予約がある方
- 診察室で採血(尿)検査を受けるように言われた方

診察券を採血室入口にある「採血採尿自動受付機」に挿入する



採血採尿自動受付機

「検査整理券」(ピンク色の用紙)と診察券を受け取る  
※尿検査のある方は採尿用のコップも受け取る

待合室内のモニターに番号が表示されるまでお待ちください  
※持参された尿や便、喀痰等があれば受付に提出してください  
※診察室から持参された採血管や伝票などがあれば受付に提出してください



採血番号呼び出しモニター(出入口)

ご自身の番号がモニターに表示されましたら、その番号が表示されている採血台までお越しください  
※採血台から口頭での番号呼び出しも行っています

ご本人確認のため、お誕生日をお伺いしますのでお答えください

採血を行います(痛み、しびれなどを感じたらすぐにその旨をお伝えください)



パッド(貼付時)

採血終了後、丸いパッドを貼りますので、3分程度しっかりと押さえてください  
※採血後しばらくは採血をした側の腕に負担をかけないようにしてください。(重い荷物を持つなど)

受付  
Offer of a better medical service is all  
**より良い医療サービスの提供がすべてです。**  
THANKS 35th ANNIVERSARY

**兵庫医科大学病院、全国の医療機関の処方せんを受付けております。**  
お薬の事など、お気軽にご相談ください。  
皆様のご利用をお待ちしております。

**武庫川店**  
[営業時間] 月～金 8:30～17:30 第1・3・5土曜 8:30～13:30  
[定休日] 第2・4土、日、祝日  
〒663-8137 西宮市池開町3-20 MAY・MANAGEMENT, BLD 101  
TEL.0798-44-3029 FAX.0798-44-3039

**武庫川駅前店**  
[営業時間] 月～金 8:30～17:30  
[定休日] 土、日、祝日  
〒663-8131 兵庫県西宮市武庫川町2-19 P1ビル1-A  
TEL.0798-42-3080 FAX.0798-42-3081

株式会社 阪神調剤薬局 <http://www.hanshin-dp.co.jp>

**処方せん受付**  
NISHI PHARMACY  
**西薬局** 武庫川店  
Nishi Pharmacy

**兵庫医大病院の処方せん受付致します！！**  
患者様のお薬に対する、不安や疑問を解決して、お薬を安心して正しく服用して頂ける様、スタッフ一同 取り組んでおります。

**お知らせ**  
処方せんを、お受け取りになられた後、1号館1階 院外処方せんFAXコーナーより、処方せん用紙をFAXして頂きますと、お薬をお渡しするまでの時間が短くなり、大変便利です。西薬局にて、無料のFAX送信カードをご用意致しております。  
お気軽にお申し付けくださいませ。 \* 阪神武庫川駅 西口すぐ！！

**西薬局** 武庫川店  
TEL : 0798-43-3232  
FAX : 0798-43-3233  
月曜～金曜 9:00～18:00  
第1・3・5土曜 9:00～14:00  
休日 第2・4土曜 日曜・祝日  
薬局前に P アリ

**健康のこと、くすりのこと  
相談できる 調剤薬局**

どちらの処方せんでもお受けいたします

**あいせい薬局** 武庫川店  
兵庫医科大学病院 受付棟 隣り  
Tel:0798-44-3577

**兵庫医大病院、全国の病院・医院の処方せん、お受けします。**

**FRONTIER ワタキュー薬局 武庫川駅前店**  
ワタキューグループ 全国137店舗  
あなたの健康サポートします。  
笑顔で、ていねいに対応いたします。  
各種クレジットカードもご利用いただけます。

月曜日～金曜日 9:00～18:00 第2・4土曜日、日曜、祝日はお休みです。  
第1・3・5土曜日 9:00～14:00

TEL 0798-42-6702 | 〒663-8131 西宮市 武庫川町2番19P-1ビル1階  
FAX 0798-42-6703 無料ファックスカードをご用意してお待ちしております。

**看護師・助産師募集**  
じぶんの色 きっと見つかる。

**WE SET SWEET**  
心地よい療養環境・ケアの提供を目指しています

SWEETとは、私たちが心に備えたいと願う5つの要素の頭文字。  
看護部ではこのキャッチフレーズのもと一丸となって、チーム医療を支えています。

**S**incerity 誠実(な行動)  
**W**arm あたたかい(対応)  
**E**vidence 根拠ある(実践)  
**E**thics 倫理(的感性)  
**T**echnique (確かな)技術

**兵庫医科大学病院** 人材対策室  
フリーダイヤル 0120-456-199  
〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町1番1号 看護師・助産師採用ホームページ  
TEL 0798-45-6543 FAX 0798-45-6524 <http://www.hosp.hyo-med.ac.jp/nursing/recruitment/>

**「くすりの話」**  
“お薬手帳”を知っていますか？～薬を安全に使うために～

自分の使っている薬の記録を付けておくと、他の病院や診療科にかかる時、薬局で薬を買う時など、医師や薬剤師に薬の名前などを正確に伝えることができます。薬の重複や飲み合わせ確認、アレルギー情報の確認もできるため、安全性が高まります。  
また、自分の使っている薬を正しく知ることで、副作用や飲み間違いを防止したり、病気の治療や健康管理に自ら取り組めたり、大きなメリットもあります。  
“お薬手帳”を持ち、自分が使っている薬の記録を残しておくようにしましょう。“お薬手帳”は薬局でもらうことができます。記録の仕方など薬剤師にご相談下さい。

**市民健康講座のお知らせ**

開催日	テーマ	講演者
4月13日(水)	遺伝性大腸癌の話	下部消化管外科 主任教授 富田 尚裕
4月27日(水)	あなたの肺は大丈夫？あなたの肺年齢は？	内科呼吸器・RCU科 准教授 田端 千春
5月18日(水)	新しい大動脈瘤術 - 体にやさしいステントグラフト術 -	心臓血管外科 助教 田中 宏衛

**開催場所・時間** 10号館3階 第3会議室 15:00～16:30  
申込み不要、参加費不要

**お問い合わせ先** 兵庫医科大学病院 地域医療・総合相談センター  
電話番号：0798-45-6035(直通)